

このページは読み上げ機能に一部対応していない場合があります。
ご不明な点につきましては、直接学校までお問い合わせください。

令和5年度 特別の教育課程の実施状況等について

千葉県八千代市		
学 校 名	管理機関名	設置者の別
八千代市立勝田台小学校	八千代市教育委員会	公立

1. 特別の教育課程を編成・実施している学校及び自己評価・学校関係者評価の結果公表に関する情報

学 校 名	自己評価結果の公表	学校関係者評価結果の公表
八千代市立勝田台小学校	https://www.yachiyo.ed.jp/ekatuta/gaiyo/hyouka/	

2. 特別の教育課程の内容

(1) 特別の教育課程の概要

第1学年34時間、第2学年35時間の特別な教育課程「言語活動科」を編成した。

第1学年は、国語科から10時間、生活科から10時間、音楽科から14時間、「言語活動科」に充てる。

第2学年は、国語科から10時間、生活科から10時間、音楽科から15時間、「言語活動科」に充てる。

(2) 学校又は地域の特色を生かした特別の教育課程を編成して教育を実施する必要性 特記なし

(3) 特例の適用開始日

平成25年4月1日

平成30年4月1日変更

令和3年4月1日変更

令和5年4月1日変更

3. 特別の教育課程の実施状況に関する把握・検証結果

(1) 特別の教育課程編成・実施計画に基づく教育の実施状況

・計画通り実施できている
・一部、計画通り実施できていない
・ほとんど計画通り実施できていない

(2) 実施状況に関する特記事項

特記なし

(3) 保護者及び地域住民その他の関係者に対する情報提供の状況

- ・実施している
- ・実施していない

<特記事項>

※本校のホームページで日々の実践の様子を公開している。

4. 実施の効果及び課題

(1) 特別の教育課程の編成・実施により達成を目指している学校の教育目標との関係

本校学校教育目標は『21世紀をたくましく生き抜いていける子ども』であり、「こころづくり」「からだづくり」「あたまづくり」の3項目を重点として、日々実践している。特に「あたまづくり」においては、「授業で育てる」ために、豊かな言語環境を整えるべく、既習を重視し、教室環境を整えた上で、グループでの効果的な話し合い、プレゼンなどの実践的な発表方法を指導している。言語活動科では、さまざまな言語を知り、関わり合う活動を実践しながら、伝え合うことの楽しさを感じさせることに注力してきた。

(2) 学校教育法等に示す学校教育の目標との関係

学校教育法30条2項にある「基礎的な知識及び技能を習得させるとともに、これらを活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力その他の能力を育み、主体的に学習に取り組む態度を養うことに、特に意を用いなければならない」とあり、上記の学校教育目標にある『たくましく』を発達段階に応じて指導し、本年度は教師も子どもも「夢中」になることを意識してきた。

5. 課題の改善のための取組の方向性

低学年のうちから、様々な言語に触れることで楽しみながら伝え合うことができるようになるが、母語をしっかりと学ぶことが前提にあると感じている。国語を中心に据えながら、豊かな言語環境を整える一助として、言語活動を活用していきたい。

本校は、外国からの飛び込み編入の家庭が多く、身振りや手振り、絵で描き示しながら、仲間づくりに励んでいる。より実践的な言語活動になるように、「生活即実践」の心意気で指導にあたっていきたい。